



不思議な世界が 好きなあなたに



『夜行』 森見登美彦 小学館 2017

「彼女はまだ、 あの夜の中にいる」

「僕」は京都で学生時代の仲間男女人で久しぶりに集まった。皆自然と10年前と一緒に訪れた鞍馬の火祭りの途中で突然姿を消した同じサークル仲間の長谷川さんの話になっていく。そして、長谷川さんが失踪してから10年の間に会った「夜行」という絵画とそれぞれ夜に起きた不思議な体験について語り始める。長谷川さんは言った。「世界はつねに夜なのよ」
「夜行」という絵画はなんなのか。そして長谷川さんが姿を消した真相とは…？

数々の有名作品を生み出した森見登美彦先生が描く夜という時間と不思議な体験にきっとページをめくる度引き込まれます。この本を読んだ後、毎日の「夜」という何気ない時間の見方や感じ方が変わると思います。そして、訪れる予想もしなかった衝撃のラストにあなたも驚くことでしょう。

あなたも一緒に「夜」に飲み込まれて、不思議な世界を見ませんか？

同じ作者のおすすめの
作品

『四畳半神話大系』 森見登美彦 KADOKAWA 角川文庫 2008

大学生になった「私」が何度も時間を巻戻りながら、色々なサークルに入る度に後悔して、薔薇色のキャンパスライフを目指す話です。
「私」の独白がとても面白いです。また、自分にとって1番幸せな生活とは何なのか考えさせられる話です。



四畳半神話大系



森見登美彦

角川文庫